

第4回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 会議録

【日 時】令和7年1月26日（日）10:00～12:05

【場 所】益富交流館 大会議室

【出席者】委員12名、事務局4名

【欠席者】委員1名

【傍聴者】2名

- 【議 事】
- 1 前回会議録の承認について
 - 2 次年度以降の協議会の体制について
 - 3 説明会の実施案について
 - 4 今後のスケジュール（予定）

【内 容】（要点）

1 前回会議録の承認について

事務局 （資料に基づき説明）
会長 承諾ということで良いか。
各委員 （異議なし）

2 次年度以降の協議会の体制について

事務局 （資料に基づき説明）
委員 資料3ページの選任例に「役員の中から選出又は現委員の継続」とあるが、役員以外から選んでも良いか。
事務局 上に記載のある「委員選任の考え方」の範囲で、団体の中で御検討いただき、決めていただければ問題無い。
委員 いつまでに選任するという期限はあるか。
事務局 3月中には依頼文を送付する予定。期限は、PTA総会や役員会が終わった頃を想定している。期限に間に合わないときは別途相談いただければと思う。
次年度の初回の協議会を6月頃に予定しているため、遅くとも4月～5月頃までには決めていただきたい。
委員 次の委員が決定権を持つことを、それぞれの団体の中で、きちんと確認をする必要があるのではないか。区長も選挙されたわけではなく自治区を代表しているだけで決定権は無い。依頼文の中に「区長（選任された委員）が代表する。決定権を持つことを御了承ください。意見があれば伝えてください。」といったことを記載いただきたい。勝手に決めていないことを明記してほしい。
事務局 依頼文には、協議会の目的や選任された委員の役割等が分かるように記載する。
委員 今は1丁目～5丁目の区長から2人で委員を務めているが、この前提は変わらないか。

事務局 今は五ヶ丘小と五ヶ丘東小の学区で人数がほぼ均等になるように委員をお願いしている。次回も同様の形で選出いただけるとありがたい。

 依頼文の中に協議会の説明文を記載し、選出された委員は皆様から任されており、協議会における意見を、今後に生かしていくことを伝える形にするということでしょうか。

各委員 （異議なし）

委員 H P にこれまでの協議会の資料や会議録が掲載されているが周知されていない。きずなネットで発信していただきたい。

事務局 本協議会は市や教育委員会としてではなく「協議会」として活動しているので、そういった団体の活動に関するものを、きずなネットを活用して発信できるか確認する。

委員 確認した後に、直ぐ対応をお知らせいただけるのか。

事務局 直ぐ対応できるものであれば対応したいと考えているが、一度事務局で確認させていただきたい。

委員 五ヶ丘小の学校だよりには、五ヶ丘小と五ヶ丘東小の統廃合に関することは、学校ではなく教育委員会に問い合わせるようになっていた。学校では回答できないのか。

事務局 学校だよりは情報発信のひとつと考えているが、問合せ先は教育委員会である。

委員 色々周りから尋ねられたときに、H P に掲載されている話をするが、H P の周知が不足しているように感じる。回覧板で回したり、こども園に周知をして良いか。

事務局 説明会の議題のところで、説明会のチラシを回覧板で回す提案をする予定だったが、さらにH P のURLをチラシに掲載することにしたい。

委員 意見を伝えられるように整えていただいているが、H P に意見は届いているか。匿名でもそれを見たい。

事務局 本人が特定されてしまいかねない内容でもあるので、即答しかねる。

3 説明会の実施案について

事務局 （資料に基づき説明） 3「説明会の実施案について」別紙資料

委員 駐車場について、できる限り多くの方に参加いただきたいが、駐車場が少なく、歩きで来てくださいますとなると足が遠のいてしまう。古瀬間小を駐車場として借りられないか。そうすると、気軽に来れるようになる。

事務局 古瀬間小に確認する。しかし、事務局のみで対応するとすると人員が足りない。委員で協力できそうな方はいるか。

委員 いると思う。

委員 グラウンドを駐車場にすると、使用後に整備しないといけない。

委員 古瀬間小の来賓用駐車場なら良いかもしれない。

委員 一般の方も多くいると思われるので、御対応を検討いただきたい。

事務局 使用後に整備が不要な駐車場を学校に確認する。

委員 参加人数の見込みを確認した方が良いのではないかと。

委員 周知にはチラシが重要。何を議論するのか明確に打ち出した方が関心を引くことができる。市民としては、統合がどうなるかが一番の関心事項。

事務局 統廃合が決まったという説明会では無いので、統廃合すると思われぬようにしなければいけない。まず、協議会としては、現状や学校再編の方向性などについて説明して、地域の方が抱えている疑問や不安などの意見を集約することが目的。学校再編の賛否を取る前に説明を受けたいという方もいらっしゃる。そういったことを踏まえると、学校再編をすると決まってからでないと関心が無いと言われると、厳しいところ。

委員 参加できない人に向けた対応はどうか。

事務局 リアルタイム配信ではなく、資料と資料の説明音声が入ったものを公開することで、説明内容を伝えられればと考えている。

委員 質疑応答の部分の配信はどうか。

事務局 個人的な意見になるところがあるので、配信するのではなく、匿名で内容だけをまとめて公開してはどうかと考えている。多少、質問しにくくなることが懸念されるが、説明会ではその旨の事前説明をする。また、全文ではなく要点を公開する。

委員 別紙資料の質疑応答の想定例が良い。回答は教育委員会で作成するのか。

事務局 この想定例は、これまでの協議会で、事務局から説明してきた内容が多い。1点目の「学校再編（統合）は決定事項ですか？」は決定事項ではない。2点目の「協議会（又は市教育委員会）としての学校再編（統合）の方針はありますか？」については、方針は無く、協議会で議論して決めていくこと。

回答は、予め準備して、協議会のメンバーで共有できればと思っている。また、質問によっては、教育委員会と協議会で回答する分担が必要と思っている。その部分も共有させていただく。

委員 学校再編（統合）は、決定ではないが、教育委員会としては進めていきたいということか。

事務局 そのとおり。

委員 当日、誰も質問が出なかった場合に、想定例のような大事な質問については、代表して発言した方が良いか。

事務局 何らかの質問は出ると思われるので、そういった対応は考えていない。また、協議会メンバーは主催者側となるので、前に座ってもらう予定。そのため、主催者側からの質問もそぐわないと思っている。

委員 この想定例は、当日の大人数の中で質問できない方もいると思われるので、予め公開しておいた方が安心できる。

委員 当日、前から詰めて座るよう案内して欲しい。

事務局 後から来た方が後ろに座れるように、そのように案内する。

委員 チラシに加えて、きずなネットで配信等はできるか。

委員 P T Aからの依頼であれば、学校は対応してもらえと思う。

事務局 学校からは案内は出せないが、P T Aから案内を出すという形であれば良いかもしれない。事務局としては、回覧板での周知を検討している。

委員 回覧板は見ないのでチラシ配布が良い。

事務局 チラシを全戸配布する。来週中に皆様の意見を聞き、修正を加え、配布していくよう進める。きずなネット用に、PDFデータをPTAに送付する。

委員 事前申し込みはチラシに記載するのか。

事務局 記載予定。

委員 託児所を利用する予定の方は荷物が多いので、駐車場の確保が必要。

事務局 利用人数がそこまで多くないと思われるので、対応する。

委員 託児所は、子どもが何歳まで利用可能か。

事務局 調べてチラシに記載する。

委員 2月2日の区長会で説明会の連絡をして、区長には、どこか1箇所にチラシを取りに来る形にしてほしい。

事務局 そのように調整する。

事務局 (資料に基づき説明) パワーポイント資料4ページ以降及び別紙アンケート案

委員 アンケート案の中で、問2の選択肢「中学生の保護者」は、尋ねてもあまり意味の無い項目に思う。小学校に全く関係の無い方をピックアップしたい。小学校に関わりの無い方が、本件についてどう考えているかなど、分析に生かせるような項目にしたい。

事務局 「同居に児童がいる」又は「学区に児童(孫など)が住んでいる」に変更することが考えられる。しかし、学区に児童(孫など)が住んでいるということで、出てきた意見に対して考え方を変えたり、分析結果を変えることは、恣意的になりかねない印象。ただ、アンケートを取ってからは変更できないので、分析する可能性や必要性があれば聞いておかなければいけない。

問2の選択肢「中学生の保護者」は、尋ねてもあまり意味の無い項目に思うという御意見を踏まえて、削除するということで良いか。

各委員 (異議なし)

委員 3「説明会の実施案について」別紙資料の「1説明会の目的」に記載があるが、説明会でアンケートを配布する際に、「五ヶ丘地区教育環境検討協議会」の目的や活動状況を周知し、学校再編の要否を決定する役割について賛成か反対かを聞くことができれば、話が早く進むのではないかと。又は統廃合の賛否を問うことはどうか。

事務局 先ほどの議論で、次年度の協議会委員の依頼文の中に、協議会の目的や役割の説明文を記載し、選出された委員は皆様から任されており、協議会における意見を、今後に活かしていくことで御理解いただいたと思っている。そうすると、ここで協議会において進めることに反対となった場合に、協議会として身動きがとれなくなってしまう。また、まだ何も説明していない段階で賛否を問う形は避けたい。

委員 次の委員の責任が重大のため、まず説明した方が良いと思う。

委員 この説明会で統廃合の賛否を尋ねたとしても、次年度の協議会で話し合う内容なので不要なのではないか。

事務局 協議会において進めることに反対となった場合、それは、学校再編に反対なのか、自分が参加しない場で決まることに反対なのか、という話になってくる。

委員 保護者の意見はどうか。自分達が学校再編の議論に参加したいのか。

委員 様々な意見がある。統合に賛成する方もいれば、統合するならどちらの小学校になってどういうスケジュールで進んでいくのかが知りたいほしいという方もいれば、今の状況で問題が無いため変わることが怖いという方もいれば、統合して子どもが混ざって新しい風を入れたいという方もいる。

情報が無く、知らないところで進んでいたり、決められることが一番不安。

委員 協議会の役割や位置づけが明確でない限り何も進まない。意見はいくらでもあ
る。現状、再編ありきのような雰囲気を感じる。大半の方は再編のその先が知り
たいのではないか。

委員 再編案やスケジュールを見たうえで意見を言いたい。

委員 現状では判断できない。

事務局 そういった話があったので、前回の協議会のときに、まず地域の皆様に説明を
して、意見を募ったうえで判断しましょうとなった。

委員 前回では、賛成か反対までアンケートに入れることになったと思っていたが。

事務局 前回の協議では、それはしないということになった。今、皆様持っている不安
や疑問を集めたところで、協議会の中で検討していきましようとなったので、資
料のような案を提案させていただいた。

委員 広く意見を募集して、不安や疑問を無くした後で、賛成か反対かのアンケート
を取るのか。

事務局 いただいた意見を基に、想定される課題に対する解決策や、学校再編のメリッ
トデメリットを協議会の中で考え、決定していく流れ。

委員 意見を聞いたうえで、協議会で決めるということか。

事務局 そのとおり。

委員 この資料を読むと、再編止む無しのように思える。

事務局 協議会で再編を検討しているが、皆様はどう思われるかを説明会で聞いていく。

委員 再編案を提示して意見を聞くことと、説明してから賛成か反対を問うことは同
じなようにことに思う。

委員 先日のまちづくりミーティングに参加して感じたことでもあるが、資料 22 ペー
ジの下の他市事例のように、子どものいるところに色々な店や団体が入っている
ことが決まっているのか。

事務局 そうではない。何も決まっていない。五ヶ丘のまちづくりミーティングは、皆
様がこれからの五ヶ丘のまちをどうしていきたいかを考えていくもの。先々、そ
れを形にしていくときに、どのようにするかを具体的に検討していくことになる。

委員 仮に学校再編をすると決まった場合に、学校をどうこうするかを検討していく
のは、PTAなどの保護者と教育委員会で、決まった後のまちづくりを考えるの
は、地域の方々と思っている。そういった役割がはっきりして、ようやく進んで
いくもの。学校施設の使い方などの話まで進めば、地域住民として議論に入って
いける。今は役割が明確でないため、越権してしまうことを懸念して、話に入っ
ていきにくいと感じている。

委員 前回の協議の件だが、賛成か反対をアンケートで聞き、賛成であれば本協議会
で具体的に議論していくという認識だった。

事務局 前回の協議の結果は、再編という考え方を打ち出したときに、こういった不安

や課題で出るかを明らかにしたうえで、それに対しての対策等がどのように考えられているかを明確にし、協議会で再編について決定するという話だった。

委員 協議会の中で、多数決で決めるのか。

事務局 協議会の中で、協議して決める。

委員 不安や課題は、説明会でのアンケートの自由記述だけだと意見を吸いきれないと思う。賛成と反対の選択肢があると良い。

事務局 賛成と反対の択一式の回答ではなく、まずは不安や課題を拾っていきたい。

委員 最終的に協議会で決める判断材料として、アンケートで賛否を取った方が良い。

事務局 判断材料はいただいた不安や課題であり、それに基づいて協議会で検討いただきたい。

委員 自由記述だけだと決めかねる。

委員 やり方はいくつかある。情報提供を行い、持ち帰ってもらい、各団体や組織で議論いただいて集約するでも良い。今回は、全部の団体で回答が出てくるのを待つという時間も無いため、教育委員会でまとめていただいた資料を基に、まず説明会を実施して情報を提供する。そして、次年度に協議会委員は各団体を背負って出てくるが、それぞれの団体で細かい意見を聴取したものを協議会で議論し、判断する。HP等で情報公開しても見ない人は見ないし、当事者の意見を聞くのであれば、協議会だけでは決めきれない。協議会委員が代表として団体に持ち帰って、必要に応じて説明すれば良い。説明してもらいたい。

来年度に決めていくスケジュールで考えると、話を進めていかなければならない。情報公開されているものを見なかったり、聞いていない、勝手に話を進めたと言われても結論が出ない。市がここまで五ヶ丘地区に入ってくれていて、具体的な話が出てきているので、納得できず反対なら反対で次年度以降で決定しなければならない。

委員 その場合、アンケートで賛成か反対を聞いた方が早いのではないか。

委員 説明会に参加した人しかアンケート調査ができないため、どうかと思う。

委員 チラシにQRコードつけて、全戸配布し、アンケートをとれば良い。

事務局 学校再編ということに対して、賛成か反対の択一で尋ねることがふさわしくないと考えている。課題に対して協議して、解決策を検討する余地がある。

委員 説明会を実施した後、質疑応答と出てきた課題に対する解決策を提示して、次年度に、賛成か反対のアンケートを全戸配布して行えば良い。

事務局 協議会の位置づけとして、解決策を考えたいうえで、協議会の中で学校再編の判断をしていてもらいたい。

委員 最終的にはどこが決定するのか。市議会か。

事務局 本当の最終は、市議会で議決を行う。

委員 そうであれば市議会で判断する材料を集めれば良いのではないか。市で少数の反対を抑えてでも行うべき使命があるのであれば、やってもらえば良い。

委員 賛成か反対かを決めるにあたって、どこかでアンケートを行う必要が絶対出てくると思う。そのいつか発生するリスクを、はじめに取るかどうかという話であれば、今取っても良いのではないか。はじめにアンケートを行うリスクが分からない。最終的には賛成か反対かの数字が必要。

委員 このアンケート案では、自由記述となっているので、反対の方は書かないと賛

成として進んでいってしまうように思う。

事務局 協議会メンバーは知識を持っているが、説明会に来られる方は最初の段階である。事務局としても、この説明会だけで情報を伝えきれるかどうか疑問や不安を無くせるかどうか分からない。そのため、まず説明会を行って、疑問や不安を抽出したい。

委員 疑問や不安を拾ったうえで、次年度アンケートを取るということ良いか。頑なにアンケートを取らないと主張している理由が納得できない。

委員 ステップを踏んでいくしかない。まず、これまでの流れを知らない人に説明会をさせてもらって、次年度にアンケートを取るか取らないかは協議会で決めれば良い。

委員 前回までの3回の協議会でアンケートについて議論してきたはず。その話が無くなり、なぜだろうかと思っている。腑に落ちていない。

委員 それは、現協議会メンバーは結論に責任が持つ立場ではないからという話だった。学校再編をするしないという決定権が無いからできない。

委員 アンケートを取ってみんなの意見を集めれば、みんながどう思っているか分かるのでは。

委員 今の段階では、先立って説明が行われたいといけない。そのうえで、次年度決定権を持つ委員を出してもらい、協議していく。その協議の中で、学校再編をするしないというアンケートを取る必要が出てれば、やるべきだと思う。

委員 その前に、学校再編に賛成と反対に分かれてディベートした方が良い。議論を深めた後でアンケートを取らないと、何も分からない人や、感覚だけで賛成や反対を決めてしまう人が出てくる。

委員 賛成の人は反対の意見を聞くべきで、反対の人も賛成の意見を聞くべき。

委員 この説明会は全く分らない人に向けたもので、内容は統合した方がこういうメリットがありますといったもの。そうするとアンケート案の「問3 本日の内容はいかがでしたか。」があいまいである。説明会そのものの満足度を聞いているのか、統合の内容に対して聞いているのか。参考までに、現時点での統廃合に対する考え方のアンケートを取ってはどうか。

委員 賛成である。

委員 問3については、説明会を聞いた後で賛成か反対かの考えを聞き、問4では、賛成や反対の場合の理由を尋ねるということに変更してはどうか。

委員 傍聴者用に次年度の協議会のスケジュールがほしい。また、協議会の開催場所の掲載をしてもらいたい。

事務局 委員が決まった後で日程調整するので、日程はまだ先になる。場所や日時の情報はHPに掲載し、調べられる形にする。

委員 令和7年度で統合に決まった場合に、どちらの学校にするかを決める話になると思うが、その結論が出ない場合には、強行して進めていくのか。統合の決定は変更不可なのか。

事務局 協議会で議論していくことになる。

委員 揉めた場合に統合廃止にはならないか。

委員 揉める程度によると思われる。

委員 市の提案に魅力的なものがあるが、本当に五ヶ丘で実現するのか。

事務局 教育委員会としては、五ヶ丘に魅力的な学校をと考えている。まちづくりミーティングの中で、もっと地域とともにある学校づくりを進めていきたいとか、新しい学校にしていきたいということになれば、益々、魅力的な学校にしていける方向に進むと思われる。

委員 今のところは、イメージのプランを提示するが、統合してもイメージ通りにならないということか。

事務局 あくまでイメージだが、こういった魅力ある内容を実現するために進めていく。具体的にどうするかということは、皆様で協議して決めていくところ。

委員 それは五ヶ丘の地域が、声を挙げて市に要望に出していかなければならないこと。どうしてくれるのかというスタンスではなく、こうしてほしいと伝えていかなければいけない。市はそのつもりでいてくれるので、自分達で要望していくべき。若い人達をはじめとして、この協議会やまちづくりミーティングを上手く使って、みんなで前向きに検討していかないといけない。

委員 まちづくりミーティングはどういった経緯か。

委員 自治区の不安と市の思いが一致して始まった。

委員 意見を言いたい人は多くいるが、声を上げる機会はあるのか。周知不足のような気がする。

委員 どんどんまちづくりミーティングやワークショップに参加すれば良い。案内を回覧ではなく、全戸配布している。それで知らない、情報が来ないというのは、元々気が無いのではないかな。

委員 声を出して動かないと地域は衰退していくだけである。五ヶ丘はこういったまちづくりミーティングやこの協議会を利用して、さらに地域会議などみんなを巻き込んで、より良いまちづくりに向かっていかないといけない。

委員 資料について、「子ども」の子が、漢字とひらがなが混ざっている。

事務局 また、はじめにあいさつになっているが、まず説明会の趣旨を説明すべき。冒頭のあいさつの中で、説明会の趣旨を盛り込むようにする。「子ども」表記は統一する。

委員 市が声をかけていただいていることが幸運なこと。この協議会メンバーのように、熱心に声を挙げている人がいるからだと思う。五ヶ丘に人が入って来ないのでは衰退していく。未来の子ども達にとって、より良い教育環境にすることが大事。現状を変えるには、どこかで環境を変えるように舵を切っていかなければいけない。いつか踏み切るのではあれば、今はチャンスである。動かなければ、若い人も困ることになる。

委員 説明会の冒頭に、若い世代や子どものために市が手を入れていくスタンスであることを説明して欲しい。

委員 情報が無い状態で賛否を取ることは不安。情報を得る能力も人それぞれ。時間の無い中でやれることは、情報提供して意見を募集し、その後、集約した意見を検討し、さらに情報を提供してから、賛否を取るという方法。

委員 もっとまちづくりと連携して考えていることを見せてほしい。

事務局 説明会はこの資料で行うが、今後、まちづくりミーティングの内容も含めなが

ら協議していくということによろしいか。

各委員 （異議なし）

4 今後のスケジュール（予定）

事務局 3月9日に五ヶ丘地区の教育環境に関する説明会を実施。その後、令和7年度の協議会委員の就任依頼を行う。その後、新しいメンバーで日程調整を行い、6月頃に第5回（令和7年度第1回）協議会を開催する。令和7年度中に、再編の判断をめざして進めていく。

（以上 閉会）